

平成26年度 第2回大阪府立吹田高等学校学校協議会 記録

- 日 時 平成26年12月8日（月）午後7時～午後8時45分
- 場 所 大阪府立吹田高等学校 会議室（本館2F）
- テーマ 本校教育のめざすもの～平成26年度学校経営計画～
(1) 平成26年度 授業アンケート実施結果を踏まえて
(2) 平成26年度 学校教育自己診断実施結果（中間報告）について 他
- 出席者（敬称略、委員は50音順）
会長 白井 孝雄（大阪薫英女学院中学校・高等学校校長）
委員 大江 慶博（吹田市立第二中学校校長）
川辺 浩一（本校後援会会長）
土井 実（鳳志会副会長）
校長 浅田 明子
- 事務局
手島 肇（教頭）、植木 邦博（事務長）、磯原 健志（首席）、大西 英之（首席）

■委員から出された主な意見等

【平成26年度 授業アンケート実施結果について】

- これは各教科で分析したものを職員会議で報告しているのですか。特に話題になった項目、関心があった項目があれば教えて欲しい。
- 評価の平均値は2.5でいいのですか。また、4が「よくあてはまる」、1が「まったくあてはまらない」といったことや設問の内容は、学校により変わらないのですか。
- 昨年の2回目の授業アンケートから、実技・実習用（芸術・体育・家庭科）と座学用に分けられ、質問項目も分けられた。実技の質問項目の1番は「あなたは、集中して先生の指示やアドバイスを聞いていますか。」、座学の1番は「予習・復習ができていますか。」とされているが、これらを同じ質問1とすれば回答が大幅に変わってくる。結果をみると座学は2点台が続いているが、一方、実技は保健体育が3.2、芸術が3.2、家庭が3.0と如実に表れている。似たような設問方式にする方がより近い生徒のニュアンスがでると思うので、次回は是非とも工夫いただきたい。
- 座学の質問項目の6番の「先生の声や話し方は聞き取りやすく、わかりやすいですか。」という設問ですが、実技の6番では「先生の指示は的確でわかりやすく、すべきことが理解しやすいですか。」と授業の中身を聞いているにも関わらず、座学では先生の発声の方法を聞くようなニュアンスになっている。この質問項目は「先生の教え方は的確でわかりやすく、理解しやすいですか」といった設問にすると実技と符合するのでは。

- 「あてはまる」とはどういう意味かと生徒から言われると、どう答えるのですか。例えば、「授業の目標や大切なポイントを説明してくれますか。」との設問に、半分位の場合、「ややあてはまる」か「あまりあてはまらない」のどちらにすればいいのか。生徒の大半は半分位という気持ちだと思ふ。

【平成26年度 学校教育自己診断実施結果について】

- 最近、朝、始業時間を過ぎているのではという生徒を見かけることが増えている。居残り1000字指導の効果が薄れてきているのでは。
- 朝ガクの分析で、3年生になると比較的數字が落ちているとのことだが、これは最近の生徒の質が変わったから朝ガクの必要性がないということからですか。この數字の持つ意味を感覚的にどのように感じられていますか。
- 実際にクラブ活動に入部している生徒を対象にアンケートを1月から実施するとのことですが、自己診断の「学校の部活動は活発だと思いますか。」という設問はこのままで、別にクラブ対象者に満足度を測るということですか。
- 鳳志会からも、頑張っているクラブに対する助成金を拡大していこうということで、高校の名声を高めるような結果をだした個人でも広げていこうという雰囲気になっている。そういう資金的なものが活発化への一助になれば非常にありがたい。
- 顧問で指導されている先生方は大変かと思うが、顧問の先生の供給面で問題はないですか。一般的に顧問になりたがらない先生が多いと聞くが、本校ではどのような状況ですか。
- 熱心な先生に指導していただいても、その後、異動により、専門性のある方がいなくなると生徒たちが一番かわいそう。
- 朝ガクの関係で、私が勤務する学校では、従前は振り返りテストを学年ごとに行っていた時期もあったが、今は全学年、読書をさせている。どの子どもにとっても落ち着いて、本に向かって過ごせる10分間があるので、そういう形の方がうち学校の子どもたちにとっては良かったと思っている。子どもたちの特性をつかんで組み立てをしてやると、一定の落ち着きが出てきたと思う。
- 登校している生徒たちの自転車に乗っている風景を気にしているが、きちんと赤信号は守っているし、二人乗りしている生徒はほとんど見かけない。歩道を歩いている方のことも考えながら、運転をしている生徒さんが大半。いいところにも目を向けて、よくなっているところも生徒さんに伝えていかないと頑張っても報われないでは、生徒はだんだんモチベーションが下がっていく。

【まとめ】

- 実技と座学を分けて項目を設けたときに同じ集計表でいいのか気になる。また、自己診断ではこんなこともやっているということを保護者に伝えながらアンケートをとっている項目もあるが、そういう項目はいいからやってくれという結果しか出ない。何を目的にどうするのがアンケートにとって一番大事なので、授業アンケートについては、変えられない部分もあろうかとは思ふが、是非、項目の精査を年々していただきたい。